



あさひ台

学 校 報
第 503 号
R4.12.23
五城目小学校

学校教育目標

夢高く 心たくましく 学び合う五小の子
～ つなぐ ひらく つくる ～

地域の皆様に支えられて

今年も残りわずかとなりました。この時期になると各地のイルミネーションのニュースを耳にします。本校の壁面には元気な「若アユ」が姿を見せました。

本校のイルミネーション設置は、20年以上前から続く伝統的なイベントです。PTA有志の皆さんが校庭の木に飾り付けたのが始まりで、その後に校舎壁面に設置し、町の人にも楽しんでもらえるように場所を変え、これまで続けてきてくださったと伺っております。現在も実行委員の皆様が中心となって進めてくださっており、必要な材料の購入も委員の皆様の会費や賛同してくださる地域の方々からの支援で賄っております。

11月27日、大人から子どもまで実に20名以上の皆様が集まってくださり、イルミネーションを設置してくださいました。わずかな時間を見つけて足を運んでくださった方もいらっしゃいます。日の傾きとともに寒さが厳しくなる中、皆さんは終始笑顔で作業され、2時間ほどで設置が完了しました。完成したイルミネーションにも感動しましたが、何よりも皆様の姿に胸が熱くなりました。

「地域とともにある学校」を目指す本校ですが、この1年間、実にたくさんの方々を支えられてきました。感謝の気持ちを決して忘れず、新しい年を迎えたいと思います。



文部科学省国立教育政策研究所による学校視察

12月19日、文部科学省国立教育政策研究所の調査研究チームによる『「対話を通じた新しい学校空間づくりのプロセスに関する調査研究』に係る視察』がありました。公立小中学校における、建築家・学校・行政・地域住民等の対話を通じた学校建設・学習空間整備のプロセスを調査研究するものです。



教室や特別教室、ワークホール、玄関ホール、体育館横廊下、階段教室など、様々な空間を活用した授業を参観していただき、委員の方から「目的を明らかにして、学習空間を多様に活用している」という感想をいただきました。

(校長 島崎徳之)